



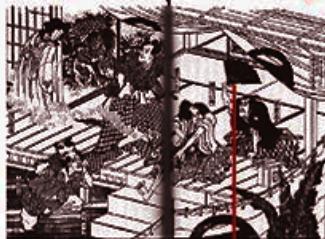
玉梓の琴は桐=霧  
定包は硯、扇



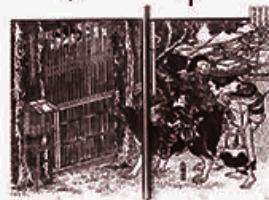
額蔵の袖は琴になっている。  
幼児は玉梓が転生した姿



鳩は玉梓  
簾は定包



霧の中  
馬は磨墨



信乃と浜路の  
位置関係  
玉梓処刑が  
画中の文



藁は定包  
老人は玉梓の使い



「白き扇のいたうがしたる」源氏・夕顔

白い帯は玉梓に  
纏わりつかれてい  
ることを示す



煩惱の雲霧は  
晴れた



同じく玉梓処刑が  
画中の文

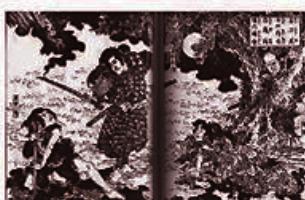


輪廻  
薰物といふ句に  
こがると付きて  
浜路の団扇は夕顔



上の四人が伏姫  
下の四人が八房

御簾を捲く人に  
放出せられ



戸五郎 神余光弘  
玉梓 鈍平の「環會」